

平成30年1月22日

阿賀野市議会議長 高橋 幸信 様

総務文教常任委員会委員長 山口 功 位

所 管 事 務 調 査 報 告 書

本委員会は、平成29年第5回議会定例会において議決を経た、閉会中の所管事務調査を下記のとおり行ったので、会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事項 安田中学校におけるタブレット端末の活用状況について
- 2 調査期日 平成30年1月22日(月) 午前9時
- 3 調査経過

平成30年1月22日、岩村教育長、圓山総務部長、五十嵐学校教育課長の出席を求めて委員会を開催し、調査事項について現地調査及び学校との意見交換を行い、その後意見集約を行いました。

- 4 調査結果

安田中学校では情報教育の推進として、ICT教育モデル事業に取り組んでいます。平成28年半ばから授業にICT機器を導入しており、現在タブレット端末が各クラスに1台、授業で活用しているものが10台、プロジェクタ付きホワイトボードが2台あるそうです。

実際に数学の授業を見学させてもらいましたが、教室では生徒がいくつかのグループに分かれ、タブレット端末を使って教員から出題された課題に取り組み、導き出した答えをプロジェクタに映し出して発表していました。全体的に生徒1人1人が積極的に話し合いに参加しているという印象で、それぞれのグループのリーダーが上手に意見を取りまとめている姿が見られました。お互いに考えを伝えあうことでコミュニケーションがはかられ、また課題への理解を深めることにつながっているようでした。

タブレット端末の活用方法としては、このような意見の共有のほか、体育で動画を撮影して自分の動きを確認したり、理科の実験器具の正しい配置方法を画像で学んだりということがあるそうです。また、特別支援学級において一斉の授業

が難しい場合、タブレット端末を使用して個別に自分に合ったアプリで学習することは非常に有効とのことでした。

現在の課題としては、タブレット端末とプロジェクタの台数が足りずに複数のクラスで同時に使用できないこと、台数が足りないために操作に抵抗のある教員が積極的に触れる機会をなかなかもてないことだそうです。生徒のほうは難なくスムーズに操作する子が多いとのこと、機器の台数を確保できればさらに活用方法が広がり、その効果も期待できるものと思います。今回実際に授業を見学し、タブレット端末活用のメリットを知ることができました。また、意欲的に学習に取り組む生徒達の姿に感心しました。

以上、総務文教常任委員会の所管事務調査の委員長報告といたします。